

水墨の世界

2007年5月31日(木)▷2007年7月24日(火)

休館日 6月中の毎週水曜日

唐招提寺の障壁画を制作するに当って、私はどうしても鑑真和上の祖国である中国を訪ねたいと思った。まだ国交の正常化前で、特別の配慮が無ければ自由に広い中国大陸へ出かけることは考えられない時代であった。(中略)

私はこの国に滞在中、何かに導かれ中国古来の真髄とも言える水墨の世界に誘われていったように思う。それまで全く墨絵を描いたことが無かった私が、まるで一種の魔法にかけられたように、見えない力がそうさせたと感じずにはいられなかった。

東山魁夷「水墨画への想い」『東山魁夷自選画文集4』1996年

No.	作品名	制作年	分類	取材地
本制作				
1	桂林月夜	1976	本制作	中国 桂林
2	瀧江暮色	1978	本制作	中国 桂林
3	黄山雨過	1978	本制作	中国 黄山
4	山霊	1987	本制作	長野・岐阜県 安房峠
5	石の窓	1971	本制作	ドイツ ネルトリンゲン
初期スケッチ				
6	ベルリンの街	1933~ 1935	スケッチ	ドイツ ベルリン
7	長野の家	1940~ 1945	スケッチ	長野市
8	雨の日	1940~ 1945	スケッチ	
9	街道の家	1940~ 1945	スケッチ	
10	頤和園にて	1943	スケッチ	中国 北京
11	承德所見A	1943	スケッチ	中国 承德
12	承德所見B	1943	スケッチ	中国 承德
13	承德所見C	1943	スケッチ	中国 承德
14	承德所見D	1943	スケッチ	中国 承德
15	承德所見E	1943	スケッチ	中国 承德
北欧風景				
16	山かげの湖	1962	スケッチ	ノルウェー
17	フィヨルドの滝	1962	スケッチ	ノルウェー
18	海に入る滝	1962	スケッチ	ノルウェー
19	樹魂	1962	スケッチ	デンマーク
20	フレーデンスボーの森	1962	スケッチ	デンマーク

連作「京洛四季」				
21	あだし野	1964~ 1966	スケッチ	京都府 化野念仏寺
22	伏見の酒倉	1964~ 1966	スケッチ	京都府 伏見
23	魚鐸	1964~ 1966	スケッチ	京都府 海宝寺
24	砂紋	1964~ 1966	スケッチ	京都府 大徳寺 大仙院
25	桂離宮書院	1964~ 1966	スケッチ	京都府 桂離宮
26	池澄む	1964~ 1966	習作	京都府 天竜寺
ドイツ・オーストリアの旅				
27	古いガラス絵	1969	スケッチ	ドイツ ツェレ
28	デューラーの家より	1969	スケッチ	ドイツ ニュルンベルク
29	穀倉	1969	スケッチ	ドイツ ディンケルスビュール
30	聖堂の中	1969	スケッチ	ドイツ ディンケルスビュール
31	裏窓	1969	スケッチ	オーストリア
連作「古都を描く」				
32	晩鐘	1969	習作	ドイツ フライバルク
33	ローテンブルクの門	1969	習作	ドイツ ローテンブルク
34	森の幻想	1969	習作	
連作「白い馬の見える風景」				
35	水辺の朝	1972	習作	ドイツ北部 オイティーン
36	樹霊	1972	習作	
大和春秋				
37	春日野朝霧	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 春日野
38	古陵薄明	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 箸墓
39	夕べの塔	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 興福寺

唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 日本の山・海			
40	雲湧く嶺 <small>くもわく りね</small>	1973	スケッチ
41	渚にて	1973	スケッチ
42	荒磯 <small>あらいそ</small>	1973	スケッチ
唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 中国の風景			
43	桂林月宵 試作 <small>けいりんげつしやう</small>	1979	第二期唐招提寺障壁画のための準備作
44	太湖の朝 <small>たいこ あさ</small>	1976	スケッチ
45	灘江の朝 <small>りこう あさ</small>	1976	スケッチ
46	山峡の月 <small>さんきやう つき</small>	1976	スケッチ
47	孤帆 <small>こ は</small>	1976	スケッチ
48	水光 <small>みづこう</small>	1976	スケッチ
49	揚州薫風 試作 <small>ようしやうくんぷう</small>	1979	第二期唐招提寺障壁画のための準備作
50	セリム湖畔	1977	スケッチ
51	セリム湖月夜	1977	スケッチ
52	天山の印象 A <small>てんざん いんしやう</small>	1977	スケッチ
53	天山の印象 B <small>てんざん いんしやう</small>	1977	スケッチ
54	砂漠を往く <small>さばくをい</small>	1977	スケッチ
55	黄山暁雲 試作 <small>こうざんぎやううん</small>	1979	第二期唐招提寺障壁画のための準備作

56	山霧幽玄 <small>さんむしゆげん</small>	1978	スケッチ	中国 黄山
57	奇峰松韻 <small>きほうしょういん</small>	1978	スケッチ	中国 黄山
58	雲中層嶂 <small>うんちゆうそうしやう</small>	1978	スケッチ	中国 黄山
59	黄山雨収 <small>こうざんうしゆう</small>	1978	スケッチ	中国 黄山
60	群れ立つ石峰	1978	スケッチ	中国 黄山

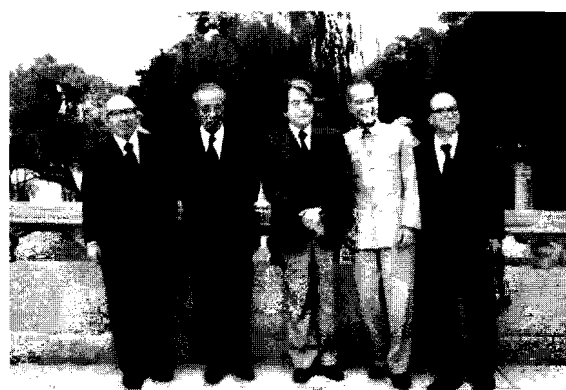
下図ほか				
61	晩照 大下図 <small>ばんしやう</small>	1954	第1回現代日本美術展のための準備作	千葉県 富津市
62	暮潮 小下図A <small>ぼちやう</small>	1959	第2回新日展のための準備作	岡山県 倉敷市
63	暮潮 小下図B <small>ぼちやう</small>	1959	第2回新日展のための準備作	岡山県 倉敷市
64	暮潮 大下図	1959	第2回新日展のための準備作	岡山県 倉敷市
65	映象 小下図 <small>えいしやう</small>	1962	第5回新日展のための準備作	スウェーデン ノルディングロー
66	映象 大下図A <small>えいしやう</small>	1962	第5回新日展のための準備作	スウェーデン ノルディングロー
67	映象 大下図B <small>えいしやう</small>	1962	第5回新日展のための準備作	スウェーデン ノルディングロー
68	「野草」カット	1977	カット・その他	
69	唐招提寺への道		書	

ピエゾグラフによる代表作				
70	緑響く		ピエゾグラフ	長野県 茅野市
71	夕静寂 <small>ゆうせいじやく</small>		ピエゾグラフ	長野一岐卓奥穂高
72	白馬の森 <small>はくばもり</small>		ピエゾグラフ	山梨県 富士山五合目のブナ原生林

(展示作品は都合により変更となる場合があります)



桂林でのスケッチ



昭和58年 日本文化交流協会の一員として中国を訪問

東山魁夷 (ひがしやま かいい) 略歴

明治41 (1908) 年横浜に生まれ、3歳のとき神戸にうつる。東京美術学校日本画科を卒業。昭和8 (1933) 年ドイツに留学。日展に出品をつづけ、22 (1947) 年特選受賞。31 (1956) 年日本芸術院賞受賞。40 (1965) 年日本芸術院会員となる。44 (1969) 年文化勲章受章。皇居新宮殿壁画、唐招提寺御影堂障壁画等を制作。平成11 (1999) 年5月6日逝去。享年90歳。

東山魁夷館

東山魁夷は東京美術学校の学生時代から、信州へのスケッチ旅行を重ね、長野県を「私の作品を育ててくれた故郷」と呼んでいました。平成2 (1990) 年、長野県に家蔵の本制作、スケッチ、習作、下図等、500余点が寄贈され、長野県信濃美術館に併設して東山魁夷館が開館しました。

作品の分類について

「本制作」は、主に展覧会への出品を前提に描かれたもので、当館収蔵の作品は1970年代から晩年にいたる作品が中心となっています。

「スケッチ」「習作」は、東山魁夷自身による分類で、「スケッチ」が実景の写生であるのに対し、「習作」は構図や色彩に作者なりの解釈をほどこしたもので、内容的には本制作に一步近づいたものといえるでしょう。